



グループリビングのイメージ

半田市議会議員 こいで よしかず

市政あれこれ

43



発行日平成30年8月10日

事務所〒475-0828 半田市瑞穂町5-3-18

連絡所〒475-0078 半田市新池町2-201-22

暮らし方改革

空き家対策とグループリビングを考える...

空き家対策と利用促進について...

全国的に空き家が増え、その数820万戸。空き家率、13.5%です。この内、活用のない住宅が320万戸あります。適切な管理がされていない空き家は、安全性の低下や、公衆衛生の悪化等が、地域住民の生活環境に影響を及ぼし問題となっています。

この問題解消のため「空き家対策法」が制定され、多くの市町で「計画」を立て空き家解消に努めています。計画の本身は、現状把握と分析、利用促進や予防です。長年放置され者朽化する前に、所有者に対して利活用を促す必要があります。先進自治体では、空き家バンクを設立し情報提供に努め、需要喚起のためにマッチング制度を設けるなどの事例もあります。

半田市でも、崩壊しそうな空き家や利活用の気配のない住宅が目につきます。市民の皆様が安心して暮らして頂けるよう、「計画」をつくり空き家を解消する様に求めています。

世代間シェアリングを促進しよう...

何故空き家が増えてしまうのでしょうか。一戸建てを取得する時点はバ

国土交通省

空き家の種類別推移

○ 空き家の総数は、この20年で倍増。空き家のうち「賃貸用又は先売却」の増加率は減少しているが、「その他の住宅」の増加率は増大している。



高齢者は、広い家を手放して高齢者のグループリビングに移り住んで

高齢者世代間のシェアリングを促進しよう...

色で、子どもの自立や配偶者との別れなど予測できません。でもいつかは、子ども達が独立し、配偶者もいなくなつて、そのまま広い家に住み続ける事例が多いようです。結果、高齢者の4人に1人が一人住まいで、やがて空き家になっていきます。一方、子育て世代で中古でも広い家を希望する方も見えると思います。マッチングを行う機会があれば、空き家を発生させず、予防にもなるのではないのでしょうか。



グループリビングCOCO湘南の平面図

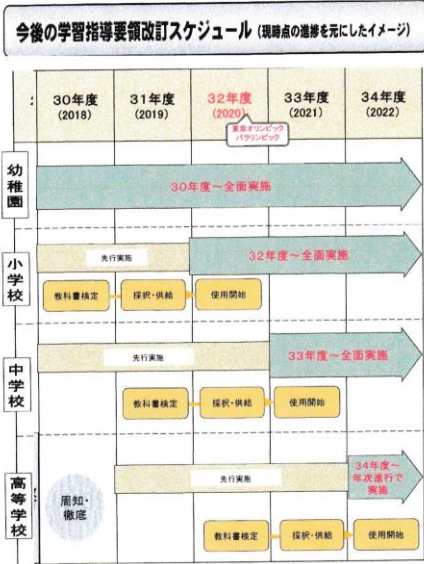
神奈川県湘南では、20年程前からグループリビングと呼ばれる高齢者用の共同住宅が運営されています。同様の集合住宅は、湘南をお手本に全国18カ所で開設されています。グループリビングは、「自立と共生」のための共同住宅です。介護を前提とした施設でなく、高齢者が助け合いながら共同で住むための住宅です。個室にはトイレやミニキッチンが用意され、共有スペースに食堂・風呂・洗濯場が配置されています。昼食・夕食は調理を委託し、入居者全員が食卓を囲みます。このような暮らし方が広まれば、高齢者の一人住まいも減り、空き家の利用促進に繋がるのではないのでしょうか。空き家対策のためにも、高齢の方々も暮らし方を一度考えてみる必要があるのではないのでしょうか。

学校教育にも改革を...

学習指導要領の改訂内容は...

文部科学省の学習指導要領改訂議論の中で、子ども達がこれからの社会を生き抜くためには、「課題を解決する力の育成が社会的な要請」との認識が示されました。そしてこの力を育てるため「アクティブラーニングの視点から学習過程の改善を行う」との方針が示されました。改訂スケジュールに沿って、幼稚園から高校までの指導要領が改定されます。

アクティブラーニングは授業の進め方の手法です。この度の改訂の目的は、小中学校の授業の中で、質の高い理解を図るための学習過程の質的改善です。子どもたちの学び力を育てるための授業の改善が行われることとなります。教師の仕事も「教え」から「育ちの支援」へ変わります。



授業改善の方向性

子ども達の学びを主体に...



児童生徒を主体とし、学び力育てようとする文科省の方針は歓迎すべきです。このような授業の進め方は、中京大学の杉江教授を中心に「協同学習」として研究が進められてきました。「協同学習」には、児童生徒たちが相互の考え方・理解の道筋など、意見交換し授業を進めるところに特徴があります。クラスが一体となって学びを育む授業は、互いを尊重し合う基本が身につくとき、良好な人間関係づくりの役に立ちます。

気にかかっているのは、教師目線の「学習指導」の名称を相変わらぬ使っている点です。授業の改善に繋がるようしっかりと見守っていかないと恐ろしいです。

外国人児童生徒へ手厚い日本語教育を!

日本語の習熟度が重要です!!

企業の人手不足の影響で、半田市内に外国人が急増しています。単身の方方もいますが、家族で転入している事例も多くあります。家を建て永く日本に暮らしている方も多くいます。従って、市内の小中学校にも多国籍の子どもが増えています。主な国籍は、ブラジル、アルゼンチンです。子ども達の人数は約200人、横川小学校53名、さくら小学校36名など特定の学校に集中しています。

子ども達の語学力は、日常会話には充分ですが、表現力・読解力については問題があります。日本語の習熟度が将来の進学や就職の妨げ障害と



53名の外国籍児童のいる横川小学校



36名の外国籍児童のいるさくら小学校

お気軽にご意見などお聞かせ下さい!

事務所: 半田市瑞穂町5-3-18

Tel&fax: 0569-58-0967

E-mail: y-koide@cac-net.ne.jp

なる事例は多くあります。外国籍の方々にとっても住みよい街にするため、子どもたちに対する日本語教育の機会を充実させる必要があると考えます。